

4町のすがたに迫る!

テーマ「まちを彩る花と木」

緑町



「東風吹かば、春の訪れ梅の香」

緑町の町花でもある梅は、まさに、緑町を代表する花です。古くからこの地域には梅の名所があり、小学校に入学する際にも、お祝いとして町から梅の苗木が贈られるなど、思い入れの強い花です。それらを象徴するのが広田梅林で、皆さんも一度くらいは訪れたことがあるのではないのでしょうか。

西淡町



「国立公園慶野松原 情緒ゆたかな白砂青松」

町のシンボルでもある名勝・慶野松原。広大な砂浜に数万本の松が生い茂り、中でも太くて曲がりくねった樹齢百年を越える老松は訪れた人々を魅了しています。また、これらの松は防風・防潮の役割も担っており、「慶野松原を美しくする会」や各種ボランティア団体など、多くの方々の力により守られています。

三原町



「憩いと潤いの花・つつじ」

三原町の花「つつじ」は、山林に自生し家庭園芸としても栽培されています。形、色彩の千変万化は、豊かな想像性を象徴しています。緑と交わる調和のよい平和な花として公共施設や公園、道路沿いにも植えられ、多くの人に憩いと潤いを与えています。

南淡町



「灘地区から全国各地へ、南淡町花・水仙」

テレビや雑誌などで全国的に有名になった灘黒岩水仙郷。しかし水仙は観光面だけではなく産業面においても、昔から地元の人たちにとっては重要な花です。地元農家は山々でこの水仙を栽培し、全国各地へ出荷しています。また、道の駅うずしおや三原町のゆずるはダム公園など灘以外で見られる水仙の花は、灘の水仙郷と同じ日本水仙がほとんどです。